

2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東  
 コード番号 6044 URL https://www.sanki-s.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北越 達男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 川崎 理 (TEL) 079-289-4411  
 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日~2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	9,963	14.8	346	392.2	348	386.2	315	347.1
2022年5月期第3四半期	8,675	3.3	70	△42.0	71	△42.4	70	△4.8

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 311百万円(358.9%) 2022年5月期第3四半期 67百万円(△19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	51.62	-
2022年5月期第3四半期	11.89	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	6,983	3,690	52.8	574.39
2022年5月期	5,081	3,017	59.4	509.09

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 3,690百万円 2022年5月期 3,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2023年5月期	-	0.00	-	-	-
2023年5月期(予想)	-	-	-	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	14,370	24.1	460	108.2	462	105.9	307	99.4	49.73	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期3Q	6,583,485株	2022年5月期	5,943,485株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	159,011株	2022年5月期	16,510株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期3Q	6,102,683株	2022年5月期3Q	5,927,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述当についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当社四半期決算に関する訂正情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対し、行動制限や海外渡航制限の緩和等により経済活動は正常化に向かう動きが見られる一方、不安定な世界情勢の影響や急激な円安の進行、資源価格の高騰や半導体の供給不足などが続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、設備の維持管理コストを減少させるための省エネ化など、持続可能な社会の実現につながる事業形態への対応が求められており、そのニーズにいち早く応えるべく事業改善や新たなサービスの提案に取り組んでおります。

また、2022年7月11日付で公表した新中期経営計画（2023年5月期～2025年5月期）において、2030年の目指す姿として「安心・快適な空間のインフラを技術・データ・ITでプロデュース（クリエイト）する会社」を掲げた上で、2023年5月期からの3年間を収益基盤強化期と位置付けております。2030年へ向けて当社の提供するトータルメンテナンスサービス、環境ソリューションサービス及びメンテナンスサービスで保有する技術を、より広く、より深く、深化（進化）していくことで、当社のMISSIONである「空間インフラのもっと快適、ずっと安心な空間を提供すること」に繋がり、お客様により良いサービスが提供できると考えております。

このような環境下において、当社グループは、24時間365日稼働のコールセンターを核としたトータルメンテナンスサービスを強みとして、社内に蓄積されたノウハウやデータに基づき突発的な修理不具合を未然に防止する保全メンテナンス及び環境改善を考えた省エネ等の提案営業を行うことで、お客様の潜在的ニーズを掘り起こすことに注力してまいりました。また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（大型吸収式冷温水機をはじめとして小型パッケージエアコン等の各種空調機器を扱うことができること）を推進することや新入社員の早期育成を行うために、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、付加価値の高い環境ソリューションサービスにおける省エネ工事が順調に増加したことや、新たに大口取引先のトータルメンテナンスサービスが始まったこと等により、2022年5月期第3四半期の売上高8,675,537千円を上回り、過去最高の売上高9,963,349千円（前年同期比14.8%増）を計上しました。また、それに伴う売上原価は7,689,425千円（前年同期比10.8%増）となりました。新型コロナウイルスの対応緩和に伴う病院・福祉施設等向けの工事案件やエネルギーコスト高騰による省エネ工事案件の需要増加は、今後も引き続き継続されるものと想定しています。販売費及び一般管理費は、今後拡大が想定されるトータルメンテナンスサービスへ対応するための積極的な採用活動による人件費の増加や、2022年12月1日に実施した企業結合の取得関連費用等により、1,927,476千円（前年同期比15.7%増）となりました。これらの結果、営業利益は346,447千円（前年同期比392.2%増）、経常利益は348,936千円（前年同期比386.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は315,034千円（前年同期比347.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,582,107千円増加し5,637,031千円となりました。主な要因は、現金及び預金が313,123千円減少した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,647,007千円増加したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ320,254千円増加し1,346,647千円となりました。主な要因は、有形固定資産が229,121千円増加したこと等によります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,902,361千円増加し6,983,679千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,174,040千円増加し2,725,120千円となりました。主な要因は、支払手形及び工事未払金が819,295千円、未払法人税等が79,429千円増加したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ55,550千円増加し568,415千円となりました。主な要因は、役員退職慰勞引当金が48,130千円増加したこと等によります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,229,591千円増加し3,293,536千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ672,770千円増加し3,690,142千円となりました。主な要因は、株式交換による新株式発行により資本剰余金が576,000千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、2022年7月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,772,342	1,459,219
受取手形、売掛金及び契約資産	1,821,963	3,468,971
未成工事支出金	55,222	294,859
原材料及び貯蔵品	23,094	31,870
その他	382,483	382,979
貸倒引当金	△181	△868
流動資産合計	4,054,924	5,637,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	209,406	319,177
土地	91,984	175,207
その他（純額）	11,086	47,213
有形固定資産合計	312,476	541,597
無形固定資産		
投資その他の資産	271,281	202,457
投資有価証券	105,178	190,980
長期前払費用	124,305	122,300
退職給付に係る資産	13,873	36,068
繰延税金資産	143,484	145,071
その他	60,592	112,972
貸倒引当金	△4,800	△4,800
投資その他の資産合計	442,634	602,591
固定資産合計	1,026,393	1,346,647
資産合計	5,081,318	6,983,679
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び工事未払金	—	1,708,860
工事未払金	897,340	—
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	89,992	95,992
未払法人税等	51,870	131,300
賞与引当金	130,627	81,856
その他	381,250	657,111
流動負債合計	1,551,080	2,725,120
固定負債		
長期借入金	205,855	181,861
役員退職慰労引当金	—	48,130
退職給付に係る負債	137,280	140,675
資産除去債務	16,448	16,863
長期未払金	150,885	150,885
繰延税金負債	—	21,620
その他	2,396	8,379
固定負債合計	512,865	568,415
負債合計	2,063,945	3,293,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	616,652	616,652
資本剰余金	504,352	1,080,970
利益剰余金	1,913,902	2,140,032
自己株式	△15,305	△141,946
株主資本合計	3,019,603	3,695,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,082	△8,696
為替換算調整勘定	2,851	3,129
その他の包括利益累計額合計	△2,230	△5,566
純資産合計	3,017,372	3,690,142
負債純資産合計	5,081,318	6,983,679

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)
売上高	8,675,537	9,963,349
売上原価	6,938,789	7,689,425
売上総利益	1,736,748	2,273,924
販売費及び一般管理費	1,666,366	1,927,476
営業利益	70,382	346,447
営業外収益		
受取利息	357	116
受取配当金	1,476	1,632
受取手数料	747	730
受取家賃	1,000	900
為替差益	2,878	—
その他	1,628	1,335
営業外収益合計	8,088	4,715
営業外費用		
支払利息	1,309	726
租税公課	850	200
為替差損	—	291
株式報酬費用	1,746	856
有価証券償還損	2,122	—
その他	677	151
営業外費用合計	6,705	2,226
経常利益	71,764	348,936
特別利益		
退職給付制度改定益	—	24,192
固定資産売却益	24,506	—
負ののれん発生益	—	73,200
特別利益合計	24,506	97,393
特別損失		
固定資産除却損	2,226	—
特別損失合計	2,226	—
税金等調整前四半期純利益	94,044	446,330
法人税等	23,576	131,295
四半期純利益	70,468	315,034
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,468	315,034



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	70,468	315,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,645	△3,614
為替換算調整勘定	2,100	277
その他の包括利益合計	△2,544	△3,336
四半期包括利益	67,923	311,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,923	311,698

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、株式会社兵庫機工を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が576,000千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。